

新潟県中越沖地震 派遣活動リポート②

柏崎保健所到着、健康福祉二丁調査開始

地震から八日後の柏崎保健所は、水道とガスがまだ復旧してなくて、トイレは使用したトイレットペーパーを汚物入れに捨て、バケツで水を流していました。洗面台には、手を消毒するためのアルコールが置いてあり「感染症防止」と書かれた紙がはられていました。

私たちの支援活動は、柏崎市内を全戸訪問しての健康福祉二丁調査でした。保健所の二階では、全国各地からの協力者が活動の受け付けをしていて、部屋にはマイカーで区切られた大きな地図がはられていました。私たちは活動内容の説明を受け、担当地区の地図をもらい、調査を開始しました。

市街地に入ると、倒壊した家屋があちこちに見受けられました。ある商店街は、立ち入り禁止地域と書かれたテープで一つの通りが囲まれていました。一瞬のうちに倒壊したのか、屋根だけになってしまった家もありました。住んでいた方の気持ちは想像を絶するものと思われました。私が担当した地区は、被害は少なかったものの、水道とガスがまだ止まったままでした。井戸がある家の方は「こんな時は助け合いが大切」と言って、ほかの方たちに積極的に水を提供していました。家屋は無事でも「災害直後、家の中の状況はすさまじいもので、やっとここまで整理したんですよ」と誰もが話していました。

訪問調査は二人一組で実施しました。ほとんどの方は、突然訪問する私たちを快く受け入れてくれました。川越市の腕章を見て、「あー行ったことがあるー」と旅の話をしてくれた方もいました。私たちは、心身の面で心配なこと、支援につなげる必要のある方については家族の了解を得て、話を聞いていきました。

保健予防課課長 林礼子

布類拠点回収（後期）を実施します

居住する地区以外の回収場所でも出すことができます。透明または半透明袋に入れ、出してください。段ボール・紙袋などでは出せません。なお、できるかぎり地域の集団回収を優先してください。

回収できる物…衣類・下着類・毛布・シーツ・タオル

*汚れている物は、洗濯をお願いします。ボタン・ファスナーなどは、付けたまま出してください。

回収できない物…布団・靴下・作業服・カーテン・じゅうたん・ぬいぐるみ・汚れている物など

回収時間…午前9時～正午（正午以降は回収しません）

回収場所

11月4日(日)…今成自治会館／市役所本庁舎／八幡神社駐車場（南 通 町）／旭 町 1 丁目集会所／中央小学校西門／農業ふれあいセンター／寺尾公民館／砂新田自治会館／かすみ野自治会館／大東南公民館

11月11日(日)…神明町保育園／中央公民館／城南中学校正門／木野目自治会館／稲荷町集会所／砂自治会館／福原公民館／鯨井自治会館／的場 1・2 丁目自治会館／大東公民館

11月18日(日)…六塚会館／岸町 1 丁目自治会館／市立川越高校正門／月吉町集会所／今泉公民館／砂久保社務所／下広谷南公民館／上野公会堂／的場下組自治会館／東急ニュータウン自治会館

11月25日(日)…北公民館／野田神社（野田町 1 丁目）／古谷公民館／県営久下戸住宅集会所／藤間文化会館／藤間南集会所／山田公民館／天沼新田自治会館／リバーサイド壺番街集会所／寿町 1 丁目集会所／原新田自治会館

12月2日(日)…市役所本庁舎／川越第一中学校正門／仙波町 2 丁目集会所／中台 2 丁目集会所／名細中学校出張所入り口側／職業センター／的場中組字町公民館／霞ヶ関北自治会館／大東西小学校北門／大塚新田稲荷窪自治会館

問い合わせ…資源循環推進課減量リサイクル推進担当・TEL内線2636

～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

●10月10日は「目の愛護デー」。少しでも異常を感じたら、早めの受診を心がけましょう 総合保健センター健康増進担当・TEL229-4121

●市営住宅の入居者募集 住宅課住宅管理担当・TEL内線3164

11月1日(木)・2日(金)に登録受け付け・書類審査を行います。入居募集のしおりは、住宅課（本庁舎3階）・出張所・連絡所・本川越駅証明センターで配布しています。詳しくは、9月25日発行の広報川越をご覧ください。

●エレベーター改修工事を行います 管財課庁舎管理担当・TEL内線2322

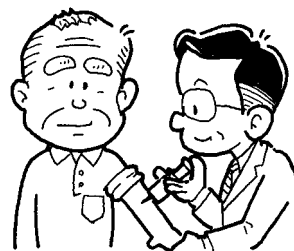
10月末～来年1月末の間、市役所本庁舎のエレベーター改修工事を行います。ご協力をお願いします。

インフルエンザの予防方法 と予防接種

総合保健センター健康増進担当・TEL229・4125

インフルエンザは普通のかぜとは違い、三十八度以上の発熱・頭痛・関節痛など全身の症状が強く出る病気です。インフルエンザを予防するためには、次のようなことを実践しましょう。

- ① 帰宅時の手洗い、うがいを必ず行う
- ② 適度な湿度(50～60パーセント)を保つ
- ③ 十分な休養と栄養をとる



また、予防接種を受けることで、完全に感染を防ぐことはできないものの、重症化を防ぐことができます。症状

④ 人込みや繁華街への外出を控え、外出時にはマスクを着用する

が重くなりやすい高齢者や、持病のある方はかかりつけ医と相談のうえ、予防接種を受けるようにしましょう。

インフルエンザの流行は十二月下旬から三月上旬が中心であること、予防接種による効果が出るまでに二週間程度を要することから、毎年十二月上旬までに予防接種を済ませることが望ましいと考えられます。

川越の環境を守るためには？

湧水の復活（水の循環）



龍池弁財天（小仙波町4丁目）

川越は、周囲を川に囲まれた関東ローム層の台地にあり、豊富な地下水に恵まれていたため、昔は156か所の湧水地がありました。

かつて湧水の水辺は、ホタルやトンボが飛び交い、アヤメやヒガンバナが咲き、人々が果実を冷やしたり、米を研いだりする自然と人間との共存の場所でした。やがて、都市化の進展に伴い、地表がアスファルトやコンクリートに覆われると、雨水が地下に浸透しなくなり、湧水地は急速に減少していきました。現在、市内の湧水地は26か所になっています。

市では「第二次川越市環境基本計画」の施策の柱に「湧水の復活」を掲げ、雨水の貯留浸透事業、家庭用雨水浸透ます設置の補助や緑地の保全事業など、さまざまな取り組みを行っています。また、かわごえ環境ネットなどでも、独自に湧水に関する調査や観察会、湧水の保全活動を行っています。

降った雨は地下に浸透し、地下水となり、やがて湧水になります。節水や雨水の一時貯留、地下浸透の施策などを通じて、水の循環を確保し、都市化される前に市内各所にあった湧水の復活を図ります。

市ではこれらさまざまな取り組みにより、貴重な湧水を次の世代に引き継いでいきたいと考えています。

問い合わせ…環境政策課環境推進担当・TEL内線2611

Report

消費生活 レポート

150

さお竹売りに
ご注意ください！

事例

巡回車でのさお竹の販売に関する相談が、全国で増加しています。

「さお竹」と物売りの声で移動しながら、「二本で千円」などと安価を強調して呼びかけ、昼間、家にいる人の関心を引きます。

しかし、いざ呼び止めて購入しようとする、「物干し台の長さに合わせて切つてあげます」と勝手に切ってしまったら、呼びかけとは別の商品を勧められ断るとすごんだりします。買わざるを得ない状況にして、「一本二万円」などと、放送していた金額とは違う高額な請求をします。

その場で代金を支払った場合、販売業者の連絡先がわからないため、被害者を救済するのは非常に困難です。

消費者へのアドバイス

- ① 声をかけるのは慎重にしましょう
- ② 事前に値段をしっかりと確認して、高額な場合はきっぱり断りましょう
- ③ トラックなどに商品を陳列し、自由に選べる場合は店舗扱いになるため、クーリング・オフできません

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター（アトレ六階）

TEL 226・7066